

『縄文研究と美術』・『縄文時代の装身具』

なお、今回の大会は、関西大学文学部考古学研究室との共催です。関西大学博物館は、玦状耳飾が出土した大阪府国府遺跡の出土品をはじめとする縄文資料の優品が多数含まれる元毎日新聞社社長本山彦一氏のコレクションや、高松塚古墳壁画再現展示室など見ごたえのある大学博物館です。この機会にぜひご覧ください。

大阪（梅田）からのアクセス
阪急電鉄「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約 20 分）、徒歩約 5 分。または京都「河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換え新幹線「新大阪」駅からのアクセス

○地下鉄および阪急電鉄利用の場合

JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島

南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約 30 分）、徒歩約 5 分。

3 プログラム

*縄文関係の資料展示・ポスター発表を予定しています。開会時間以前に見学可能となる可能性があります。展示品目や見学時間の詳細は随時、関西縄文研 HP「関西縄文カフェ」(<http://1st.geocities.jp/kansaijomoncafe/>)でご案内いたします。

12 月 5 日（土） 「縄文研究と美術」

- 13:00 開会
- 13:10 鈴木希帆（東京国立博物館）「日本美術史における縄文土器」
- 14:00 曾根茂（画家）「美術的観点からみた縄文土器編年研究の魅力 - 変化する土器文様（中津式・称名寺式を例に、系統論の視点から）」
- 14:50 休憩
- 15:10 安芸早穂子（復元イメージイラストレータ）「考古学の伝え方から見た縄文研究の課題」
- 16:00 座談会「縄文研究と美術」
司会：岡本康明（京都造形芸術大学）・千葉豊（京都大学）
- 17:00 閉会。終了後、懇親会（要事前予約）。

12 月 6 日（日） 「縄文時代の装身具」

- 9:00 事務連絡
- 9:05 井ノ上佳美（御所市教育委員会）「縄文・弥生時代の頭飾り」
- 9:55 木下哲夫（あわら市教育委員会）「所謂块状耳飾の用途について」
- 10:45 休憩
- 11:10 大坪志子（熊本大学）「西日本から見た石製装身具の流通」
- 12:00 昼食
- 13:30 討論および府県縄文情報報告
- 15:00 閉会

- 4 参加費 無料。ただし、当日頒布発表資料集 4000 円程度（未定）。後日、記録集作成・販売予定。

- 5 懇親会 会場：「すっぽん」（関大前駅から徒歩 5 分）
会費：5000 円前後（要事前予約）

6 申込先・お問い合わせ先

研究集会参加ご希望の方は（１）お名前、（２）ご所属、（３）連絡先メールアドレス、（４）懇親会参加の有無、を明記の上、11 月 24 日までにメールで kansaijomon@yahoo.co.jp（関西縄文文化研究会）までお申し込みください。075 - 466 - 3128（担当：矢野健一）まで連絡先明記の上 FAX でお申込みいただいても結構です。なお、事前申し込みがない場合も大会参加は可能ですが、懇親会の当日申し込みは受け付けられない可能性があります。お問い合わせもメールまたは FAX をお願いします。

- 7 宿泊 宿泊の斡旋はいたしません。各自でお願いいたします。

8 資料展示・ポスター発表・図書販売募集

11 月 30 日までに関西縄文文化研究会 kansaijomon@yahoo.co.jp まで、お問い合わせください。